

R8.7.29 市民ワークショップ<つるおか未来カフェ>(致道館中)

目 的

- ・ 総合計画後期基本計画の市民へ普及・啓発を図るとともに、市民との協働により推進し、今後のまちづくりや一つひとつの取組に市民の意見を反映するため、市民ワークショップを開催するもの
- ・ 次代を担う若者・学生の意見やアイデア等を聞くために、致道館中学校の生徒を対象に実施

開催概要

日 時：令和8年7月29日（水）8時50分から11時00分

場 所：山形県立 致道館中学校 参加者：同校 3年生 82名（夏季講習受講者）

内 容：10グループに分かれ、総合計画後期基本計画に関連したテーマについて、「まちづくりのために何が必要か」という視点から意見を出し合い、グループ討論・グループ発表を行う

その他：ファシリテーターとして、東北公益文科大学「地域共創コーディネーター養成講座」を修了した市職員等を配置



市民ワークショップ<つるおか未来カフェ>(まとめ①)

意見概要

タイトル：若者の地元回帰・定着の促進

- ・大学や工場、商業施設の誘致や、空き家を活用したイベントなどで、学びや仕事、娯楽の場を創出する。
- ・酒田～鶴岡の循環路線や学生用バスの導入など、交通網や生活インフラを整備し、移動の不便さを解消する。
- ・給食発祥の地であることやユネスコに認められた食文化、自然、温かい人柄などの地域の魅力を広く発信する。
- ・農業や第一次産業の体験、直売所の支援などを通じて、地域外に頼らずとも自立できる地産地消を進める。
- ・充実した子育て支援を多くの人に知ってもらう活動により、支援を受ける対象者を広げていく。

タイトル：医療・福祉の充実

- ・同じ病気の人同士でつながれたり、孤立を防げたりする心理的支援の場やツールなどを創出する。
- ・高齢者や障害者などへの支援を充実する一方で、医療従事者の負担軽減など、支える側の支援の充実も必要。
- ・サービス等の支援に加えて、移住者や高齢者、新生児に対しては、医療費や予防接種費用などの金銭的支援を行う。
- ・オンライン診療の普及や、高齢者の通院送迎対策など、医療を受けやすい体制を整備する。
- ・街中のバリアフリー化とともに、病院や施設に高度な医療を受けられる機器等を整備する。

タイトル：防災・防犯体制の充実

- ・日頃から地域ぐるみの防犯教室を開催し、こども110番連絡所を広げる取り組みが必要。
- ・街灯を増やして暗所を減らし、鍵かけの推奨や防犯ツールの配布を行う。
- ・津波対策として強い避難所を建設し、ハザードマップを道路に設置するなど、日頃から避難経路を意識できるようにする。
- ・防災タブレットを家庭に配付し、災害情報の伝達手段の確認や、町ごとの避難訓練を定期的を実施する。
- ・SNS犯罪対策として相談窓口の設置や、抑止のための呼びかけを実施する。

タイトル：共生社会の実現

- ・特に食文化に着目した異文化交流イベントや、日本語・多言語教室を開催する。
- ・姉妹校交流や英語の学習推進、ピクトグラムを活用した多言語案内・マップを整備する。
- ・現在実施しているイベントや活動を知ってもらうために、SNSを活用してさらに発信力を高める。
- ・市内の施設のスロープ設置や、歩道等への点字ブロック設置などのバリアフリー化を進める。
- ・自然やスポーツ、イベントを通じ、多様な人々との交流の機会を確保する。

タイトル：環境保全と資源循環型社会の形成

- ・不法投棄の罰則強化や給食の持ち帰り許可など、環境保全のための新たな条例や法改正などのルールを整備する。
- ・公共施設への薪ストーブ導入促進や、森林資源の継続活用や灰の再利用などの循環型の取り組みを創出する。
- ・フードロス削減やゴミ拾いなど、自分達でできる具体的な行動で、様々な世代に取り組みを浸透させる。
- ・学校教育や体験学習を通じて、環境問題を学ぶ機会を確保する。
- ・自然と触れ合えるイベント等への幅広い世代の参加が重要である。

市民ワークショップ<つるおか未来カフェ>(まとめ②)

意見概要

タイトル：農林水産業の振興

- ・ 個人経営では大きな発展は難しく、地域内での協力体制や収入安定化のための組織整備に対する支援を行う。
- ・ 在来作物やブランド魚の認知度向上のため、都会高級スーパーなどの顧客獲得への取組みに対する支援を行う。
- ・ 農林水産業の魅力を知ってもらうために、SNSやポップアップストアを活用した情報発信をする。
- ・ 都会の若者や外国人が鶴岡市で一定期間農業体験ができるイベントや、地元の高校生等にSEADSを知ってもらう機会を確保する。
- ・ 後継者マッチングアプリの作成や、AIロボットの技術開発への支援が必要である。

タイトル：鳥獣害対策の充実

- ・ 身を守るための学校での授業や地域での訓練、対策グッズの配布をする。
- ・ 電気柵やワナ設置への補助を行うことで、農作物の食害から畑を守ることが必要である。
- ・ 鳥獣の生息地を守るための森林開発の調整や居場所を確保する。
- ・ 鳥獣の接近を知らせるAIシステムなど、先進技術の整備・導入に対する支援を行う。
- ・ 捕獲した鳥獣を有効活用するジビエ料理の提供や、若い猟師の育成環境を整備する。

タイトル：中心市街地の活性化

- ・ 子育て環境の充実や、子どもから大人まで世代に合わせて楽しめる遊び場などの施設を整備する。
- ・ 公共交通機関（バス路線）の拡充や自転車専用レーンの整備とともに、貸出自転車の拡充などで移動手段を確保する。
- ・ SNSを活用した情報発信や、観光大使の活動支援、インフルエンサーの誘致を行う。
- ・ 空き家を活用した店舗やフリースペースの導入支援、これらを活用する移住者への支援を創出する。
- ・ 日常の「質」を向上させるとともに、食を生かしたイベントの定期開催や地域と外国人が交流できる場づくりが重要である。

タイトル：観光の振興

- ・ 貸出自転車やバス路線の拡充など、交通網を発達させて観光地へのアクセスを向上させる。
- ・ 特産品を活かしたイベントや、庄内産食材の食べ歩きスポット、観光施設をまわるスタンプラリーを実施する。
- ・ 観光大使の活動支援やインフルエンサーの誘致など、興味をひくSNSを活用した情報発信を行う。
- ・ 空き家を活用した店舗やフリースペースの開設を支援し、これらを活用する移住者へのサポートを手厚くする。
- ・ 商店街の活性化や講演の場を通じて、観光客だけでなく地元住民が楽しめる環境を整備する。

タイトル：デジタル化の推進

- ・ 市役所の手続きをコミセンでもオンラインでできるようにしたり、高齢者が操作方法を相談できるコールセンターを整備する。
- ・ 公式LINEの活用や、センサーによる公園の利用状況把握など、情報発信ツールを活用した生活の利便性向上を図る。
- ・ 道路の混雑状況の可視化や、電車へのSuica導入などの交通システムを整備する。
- ・ 災害時のアナログ対応も制度として整備する。
- ・ 過度なデジタル化による監視社会への懸念を踏まえ、利便性と安心のバランスが重要である。